



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	主要地方道宇都宮向田線 <small>いたどまち</small> 宇都宮市板戸町 平出板戸Ⅱ期 L=1,000m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

事業の概要

【目的】

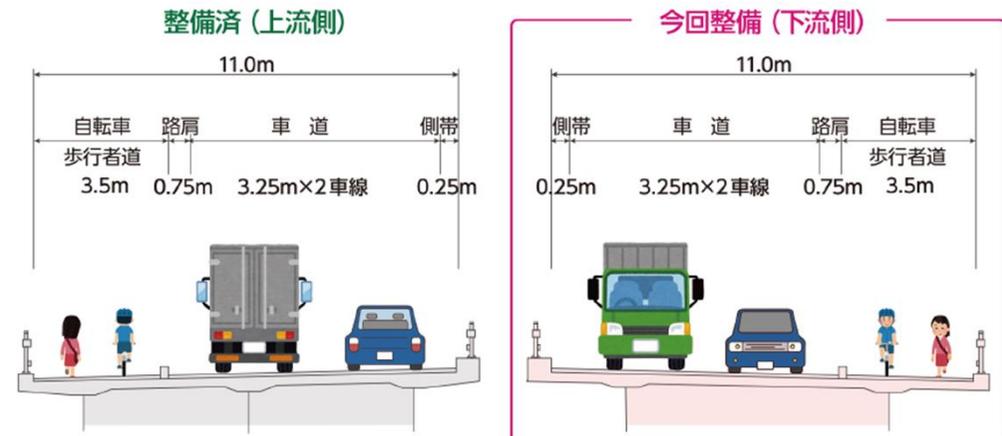
本路線は、新4号国道や国道408号を横断し、鬼怒川左岸地域に位置する大規模な工業団地群にアクセスする、本県の産業・経済活動を支える重要な路線である。

平出板戸Ⅱ期工区の4車線化を行うことにより、板戸大橋周辺の交通渋滞の緩和や物流の効率化および地域間の連携・交流が図られる。

【事業概要図】



	4車線供用済
	2車線供用済
	評価区間
	常総・宇都宮東部連絡道路



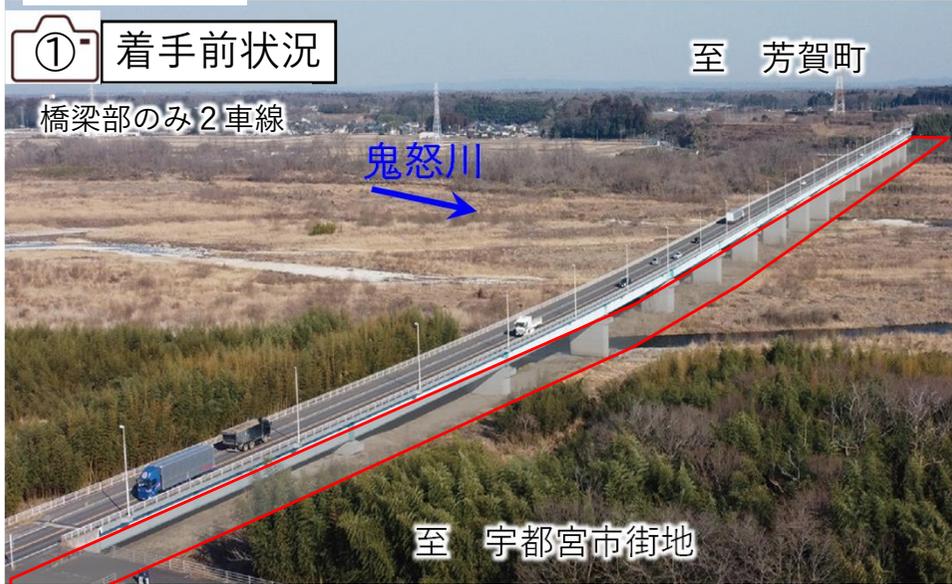
【現況】

目標事業期間 (変更前)	令和5(2023)年度～令和10(2028)年度 (令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)
事業経過	令和5(2023)年度 事業化 令和6(2024)年度 工事着手 令和7(2025)年度 再評価 (今回)
全体事業費 [うち用地補償費]	89.0(66.0)億円 [0(0)億円] ※()は前回計画時
事業延長 [うち整備済延長]	L = 1,000m [L = 0m] ※下部工11/18基 完了
進捗率	基準年次：【令和7年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 37.9億円 43%

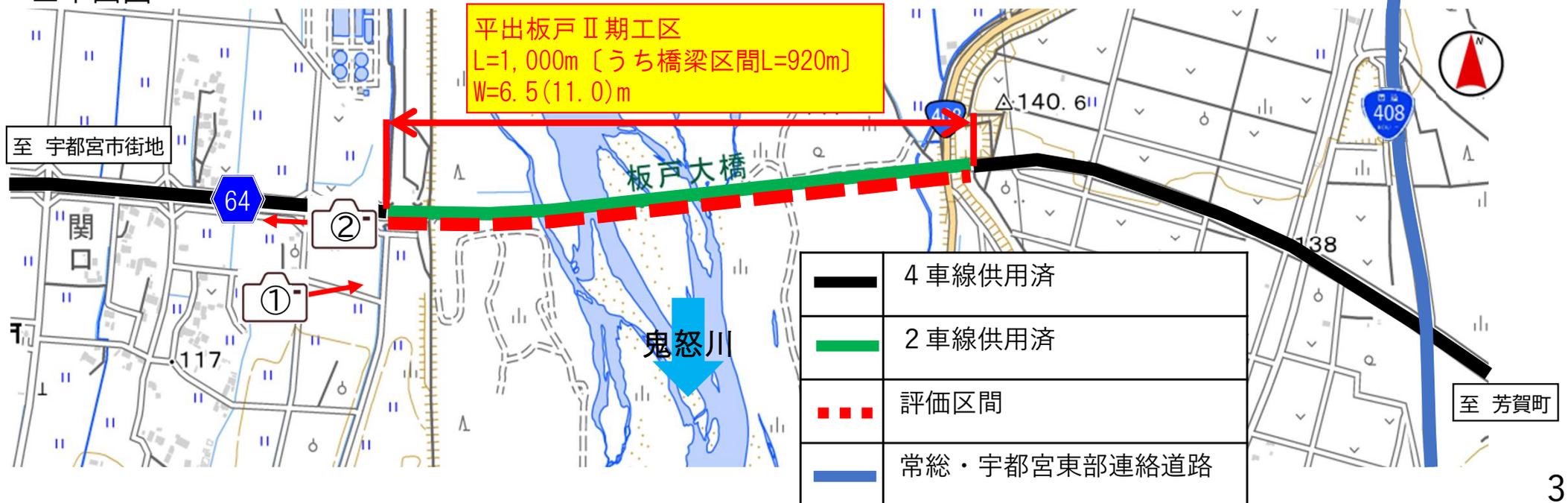
事業の概要

【事業内容】

■状況写真



■平面図



II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

- ・ 事業期間の見直し
令和9年度 ⇒ 令和10年度
- ・ 総事業費の見直し
66億円 ⇒ 89億円

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R5年度)	今回計画
	事業費	66.0 億円	⇒ 89.0億円 (+ 23.0億円)
内 訳	工事費	64.0 億円	⇒ 87.0億円 (+ 23.0億円)
	測量設計費	2.0 億円	⇒ 2.0億円 (+ 0億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B / C	総便益 (B)	総費用 (C)
(1) 事業全体	1.3	114億円	85億円
(2) 残事業	2.3	114億円	49億円

2 事業の整備効果等

- ・ 高規格道路常総・宇都宮東部連絡道路へのアクセス道路として一体となって整備することで、地域間の連携・交流の促進が図られる。
- ・ 新4号国道や国道408号と鬼怒川左岸地域の大規模な工業団地群との連絡が図られることで物流ネットワークが強化され、産業・経済活動の支援につながる。
- ・ 交通渋滞の緩和により、道路利用者の円滑な通行が確保される。

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 43%
- 工事 43%

2 今後の事業進捗の見込み

- 工事を推進し、令和10年度を目標に事業完了を図る。



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 橋梁上部工の合理化構造の採用や再生材の利用に努め、コスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- 事業区間については完成4車線で用地取得済であり、橋梁工事にも一部着手していることから、引き続き現計画で事業を継続することが妥当と考える。

【事業の対応方針（案）】

本計画で事業を継続する。